

# 研究発表プログラム

●●●第3日 3月13日(火) 9:00~11:15 研究発表I●●●

発表セッション1 【座長:池田 耕太郎(いちほら病院)・多田 憲孝(大阪国際大学)】

- |           |   |
|-----------|---|
| 9:00~9:19 | 医学部スキー部学生のスキー関連外傷・障害の既往と安全意識調査<br>第2報<br>○福田悠甫(昭和大学), 藤巻良昌(昭和大学), 諸星明湖(昭和大学), 佐々木優子(昭和大学), 小菅顕大(順天堂大学), 鈴木 洋(昭和大学), 雨宮雷太(昭和大学), 加賀谷善教(昭和大学), 稲垣克記(昭和大学) |
| 9:20~9:39 | ヘッドマウントディスプレイを用いた競技スキー滑走映像視聴による心理・生理的な反応<br>○深見 将志(日本大学)  |
| 9:40~9:59 | スノーボードジャンプにおける頭部姿勢推定に関する研究<br>○齊藤亜由子, 辻 尚史, 長谷川涼太(秋田高専), 土岐 仁(秋田大学)   |

休憩(10:00~10:15)

発表セッション2 【座長:伴 好彦(武蔵野短期大学)】

- |             |   |
|-------------|---|
| 10:15~10:34 | モーグルスキー審判の主観的判定についての分析研究<br>○金 容旭(漢陽大学)                                       |
| 10:35~10:54 | インバウンド進展に伴う八方尾根スキー場周辺の地域変容<br>ー 外国人所有の観光施設の変遷 ー<br>○吉沢 直(筑波大学大学院), 渡邊 仁(筑波大学) |
| 10:55~11:14 | 昭和7-13年長野県内のスキー場開発について<br>○新井 博(日本福祉大学)                                       |

●●●第4日 3月14日(水)9:30~11:45 研究発表Ⅱ●●●

発表セッション3 【座長:塩野谷 明(長岡技術科学大)】

- |             |  |
|-------------|--|
| 9:30~9:49   | 実滑走情報に基づくターンモデルを用いた滑走速度・加速度解析に関する研究<br>○廣瀬 圭 (テック技販・信州大学), 近藤亜希子, 千葉 遥 (テック技販)           |
| 9:50~10:09  | 小学校体育授業においてスキー滑走動作の運動アナログを養う教材・教具の検討<br>○吉田陽平 (長野市立芋井小学校)                                |
| 10:10~10:29 | アルペンスキー選手における連続ラテラルジャンプの下肢内傾動作<br>○三浦 哲 (新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター), 三浦望慶 (ヘルス&アクティブエイジング研究所) |

休憩(10:30~10:45)

発表セッション4 【座長:呉羽正昭(筑波大学)】

- |             |   |
|-------------|---|
| 10:45~11:04 | マスターズスキーを実施する中高齢者の精神健康に関連する要因の検討<br>○山根真紀 (日本福祉大学, 筑波大学大学院), 武田 文 (筑波大学)  |
| 11:05~11:24 | スキー場における指定管理者制度公募の状況<br>○蓬田高正 (天理大学)  |
| 11:25~11:44 | ヨーロッパスキーリゾートの特徴 —フランスシャモニーを事例として—<br>○向後和典 (つくば国際大学), 田井健太郎 (長崎国際大学), 高橋和将 (茨城キリスト教大学), 正見こずえ (大阪産業大学), 向後佑香 (筑波技術大学) |